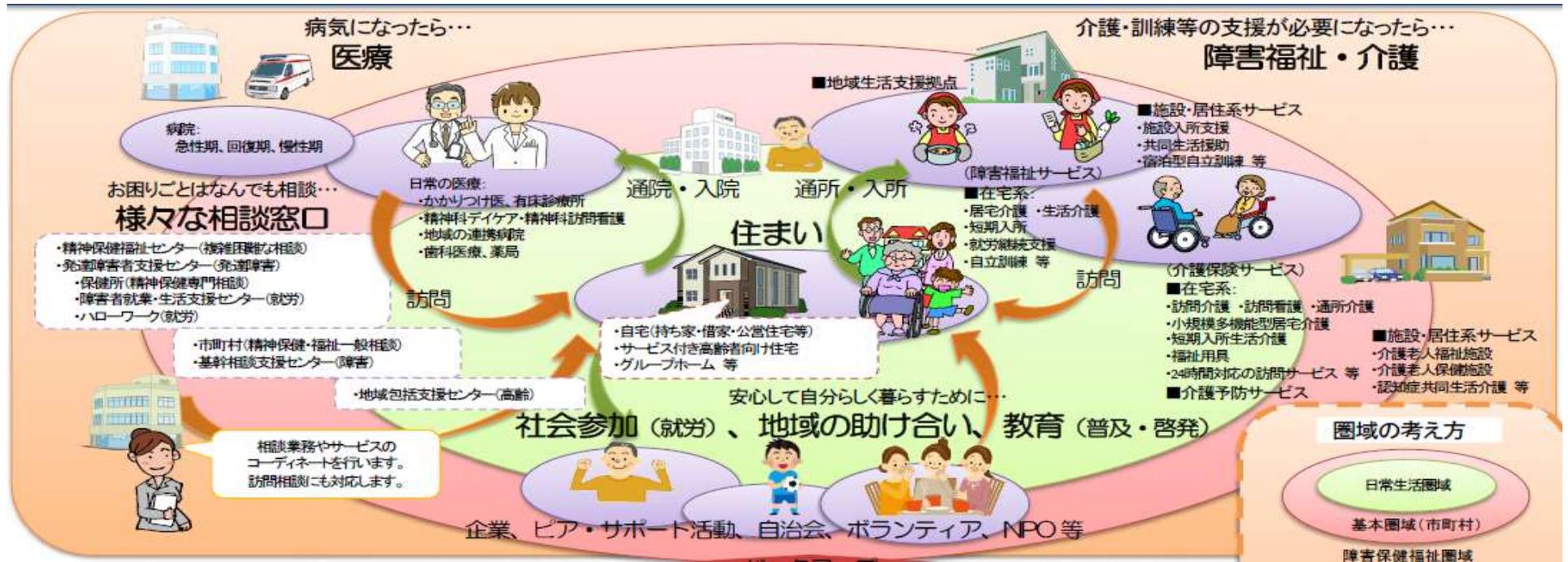


(3) 精神障害にも対応した地域包括 ケアシステム構築推進事業について

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとは？



【目的】

- 精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう **医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労)、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指す。**
- 地域の基盤整備とともに、市町村や障害福祉・介護事業所が精神障害の程度によらず地域生活に関する相談に対応できるよう、**圏域ごとの保健医療・福祉関係者の協議の場を通じ、重層的な連携による支援体制**を構築する。

国が定めた事業メニューは下記の9つとなっており、自治体の実情に応じて実施する。
千葉県では3分科会（進め隊・広め隊・深め隊）を設置して活動を展開。（太枠の事業）

① 精神保健医療福祉体制の整備に係る事業

② 普及啓発に係る事業

③ 住まいの確保や居住支援に係る事業

④ 当事者・家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

⑤ 精神医療相談・医療連携体制の構築に係る事業

⑥ 障害者等の地域生活支援に係る事業

⑦ 地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業

⑧ 市町村等における相談支援体制の構築支援に係る事業

⑨ その他、地域包括ケアシステムの構築に資する事業

事業実施状況

(1) 精神医療福祉体制の整備に係る事業

○地域包括ケアシステム構築推進連携会議

- ・開催回数 3回（3月に3回目を開催予定）
- ・構成員 27名（精神科病院、障害福祉サービス事業所、あんしんケアセンター、家族会、法曹関係、行政職員等）
- ・協議内容 事業計画の企画立案・検討、実施状況の報告など

○構築推進サポーター事業（進め隊）

地域移行支援の経験のある事業所と経験の少ない事業所をマッチングし、地域移行のノウハウをレクチャーしながら事業所を育てる制度（OJT）

（R7.12月末時点）

- ・支援ケース 2件
- ・新規OJT事業所 2事業所
- ・支援回数 延30回
- ・退院ケース 1件
- ・退院中断ケース 1件

事業実施状況

(2) 普及啓発に係る事業

○若年層向け演習活動（広め隊）

- ・内容：精神保健福祉士（学生）と精神科病院に入院している本人（地域の実務者）に分かれ、入院中の本人の思いや今後の希望や不安を聞き取ることも目的に模擬面接を行った。

開催日	場所	対象者	参加人数
5月27日	淑徳大学	淑徳大学学生（4年生）	15人
12月2日	淑徳大学	淑徳大学学生（3年生）	13人
12月4日	幕張総合高等学校	幕張総合高等学校 （専攻科1年生）	32人

【5月27日淑徳大学 演習の様子】



事業実施状況

(2) 普及啓発に係る事業

○若年層向け普及啓発活動（広め隊）

開催日	場所	対象者	参加人数	内容
9月2日	幕張総合高等学校	幕張総合高等学校学生 (看護科専攻科2年)	32人	精神科に特化した訪問看護についての基礎知識や役割等の講演会を実施。その後、事例検討とグループワークを行った。
11月20日	植草学園大学	植草学園大学 保健医療学部	24人	精神科病院と地域事業所における役割についての講演会を実施。その後、座談会を行い意見交換を行った。
1月22日	植草学園大学	植草学園大学 発達教育学部	—	精神科病院・地域事業所・行政における役割についての講演会を実施。その後、座談会を行い意見交換を行う予定。

事業実施状況

(2) 普及啓発に係る事業

○心のサポーター養成研修（座学＋実習）

メンタルヘルスやうつ病や不安など精神疾患への正しい知識と理解を持ち、メンタルヘルスの問題を抱える家族や同僚等に対する、傾聴を中心とした支援者（小学生からお年寄りまでが対象）

講演内容：「心のサポーターとは」（共通研修）
「こころの病気について学ぶ」（選択研修）

開催日	場所	対象者	参加人数
7月8日（火）	淑徳大学	学生	43人
8月8日（金）	植草学園大学	学生	57人
11月21日（金）	千葉市役所 正庁	千葉市役所職員 及び関係機関職員	69人
12月22日（月）	幕張総合高等学校	学生	37人

【7月8日 淑徳大学研修の様子】



事業実施状況 (4) 当事者、家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

○合理的配慮研修（深め隊）

開催日	場所	対象者	参加人数	内容
10月24日 (金)	千葉県社会福祉センター	中小企業経営者 中小企業診断士	7人	組織内における合理的配慮に関する講演と当事者体験談（リカバリーストーリー）を実施。その後、当事者体験談を題材とした意見交流会を行った。
11月18日 (火)	千葉市こころの健康センター	ボランティア講座受講者	23人	こころの健康センターで実施している「ボランティア講座」とコラボし、当事者2名におけるリカバリーストーリーを中心に当事者の思い等含め質疑応答で実施した。
12月5日 (金)	帝京平成大学 千葉キャンパス	帝京平成大学健康医療スポーツ 学部 看護学科学生（2年生）	82人	大学生向けに、「事業説明」・「合理的配慮研修」・「当事者体験談」の講演会を行い、その後意見交換と質疑応答を行った。
2月20日 (金)	千葉市役所 L401	千葉市障害者基幹相談支援センター (6区相談員)	—	相談員向けに「当事者体験談」の講演を行い、その後事例に対するグループワークを行う。

事業実施状況 (4) 当事者、家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

○地域における福祉・医療サービス何でも相談会

- ・今年度は、千葉市こころの健康センターが主催する「心の健康フェスティバル」に参入し、悩みを抱えるより多くの方が福祉サービスにつながるよう個別相談窓口を拡充する。
- ・**開催日**：2月28日（土）13時00分～15時00分（予定）
- ・**場所**：千葉市ハーモニープラザ A棟3階ハーモニーホール
- ・**内容**：精神科等に通院している方や家族、心の不調を感じている市民の方を対象に、地域における福祉・医療サービスについて各専門機関による個別相談会を実施。当日は、サービスにつながっていない方やこれから支援を受けようかと考えている方へ向けたフローチャートを配布し、より相談しやすい環境づくりを行う。

【参加専門機関】

- ・ 障害者基幹相談支援センター
- ・ 相談支援事業所
- ・ 就労移行支援事業所
- ・ 自立（生活）訓練事業所
- ・ グループホーム
- ・ 訪問看護ステーション
- ・ 千葉市発達障害者支援センター
- ・ 福祉まるごとサポートセンター

○地域移行・地域定着支援に関する相談員交流会（進め隊）

- ◎地域移行・地域定着支援をよりしやすくするために、支援者同士の顔を見える関係づくりをテーマに3回シリーズの交流会を実施。

第1回精神科病院相談員と地域支援者の交流会

- ・開催日：10月14日（火）10時00分～12時00分
- ・参加人数：31名
- ・内容：市内精神科7病院の相談員から、病院概要の説明を行った。
その後「病院相談員に聞きたいこと」を題材としてグループワークを行い、その中で出た意見に対して病院相談員が回答する形で意見交換を行った。

第2回精神科病院相談員と地域支援者の交流会

- ・開催日：12月16日（火）10時00分～12時00分
- ・参加人数：39名
- ・内容：障害相談支援事業所と千葉県障害者基幹相談センターの概要説明を行った。
その後1つの事例をテーマに、退院の時や地域生活支援の時等の各時点の役割について意見交換を行った。

事業実施状況

(6) 精神障害を有する方等の地域生活支援に係る事業

○地域移行・地域定着支援に関する相談員交流会（進め隊）

第3回精神科病院相談員と地域支援者の交流会

- ・開催日：2月17日（火）10時00分～12時00分（予定）
- ・内容：グループホームの職員から、地域における役割や概要の説明を行い、その後意見交流会を行う予定。

【10月14日交流会の様子①】



【10月14日交流会の様子②】



○全体研修会（地域移行支援者研修会）

- ・開催日：2月24日（火）予定
- ・活動内容：1年間の活動の振り返りとして、各隊の活動報告

入院者訪問支援事業の実施状況等

- ・外部との面会交流が途絶えやすい精神科病院の入院者を訪問支援員が訪問し、傾聴、生活相談に応じ、必要な情報提供等を行うことで、孤独感や自尊心の低下等を解消することを目的とする。
- ・各病院にチラシの掲示や配布をお願いしているほか、市長の同意による医療保護入院者で入院期間が更新された方を中心に職員が面会し、事業案内を行っている。

(実人数)

	依頼	派遣
令和6年度	7	5
令和7年12月末	12	12

今後の事業方針

- 引き続き、連携会議や各分科会を軸として活動の幅を広げ、研修等も積極的に展開していく。
- 地域移行を円滑に進められるよう精神科病院及び事業所等との連携や、地域住民等への広報・啓発活動をより推進していく。
- 心のサポーター養成研修については、年間の目標認定者の数値を設定し、これまでどおり高校や大学等で研修を実施しながら、さらに一般市民向けの研修を開催し認定者の増加を図る。